広島のワクワクを創造する
広島電鉄

2027年３月期
第２四半期（中間期）決算説明資料



2026年11月13日

広島電鉄株式会社（証券コード：9033）

2027年3月期 第2四半期(中間期) 連結経営成績

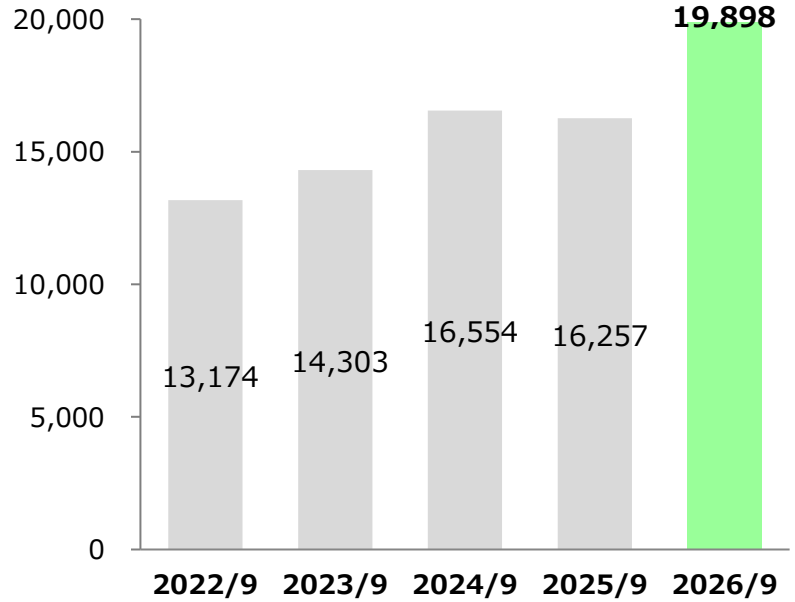
（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	16,257	**19,898**	+3,640 (+22.4)	2025年８月の「駅前大橋ルート」開業もあり、前年に引き続き運輸業や観光関連事業における収益は増加。 また、不動産業及び建設業の収益も堅調に推移したこと、㈱Ａ＆Ｃが連結子会社に加わったことでグループ全体としても増収。
営業利益	△102	**401**	+504 (－)	
経常利益	11	**514**	+503 (－)	※前期まで「特別利益」に計上していた運行補助金のうち、自動車事業に係る生活交通路線維持費補助金等を、当期から「営業収益」に計上しております。これに伴い、前期についても組み替えて表示しております。
親会社株主に帰属する中間純利益	△24	**591**	+615 (－)	
1株当たり中間純利益	△0.80円	**19.47**	+20.27円	

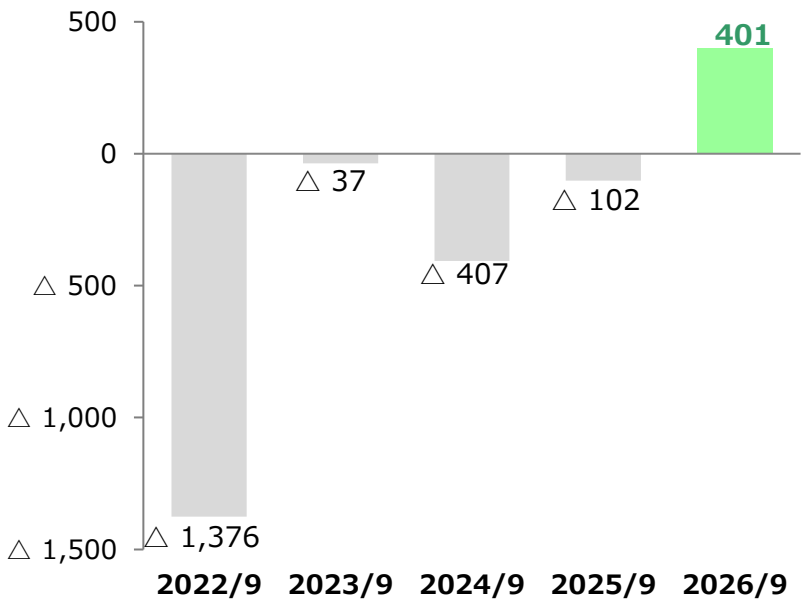
連結業績の推移（営業収益・営業利益）

広島のワクワクを創造する

営業収益



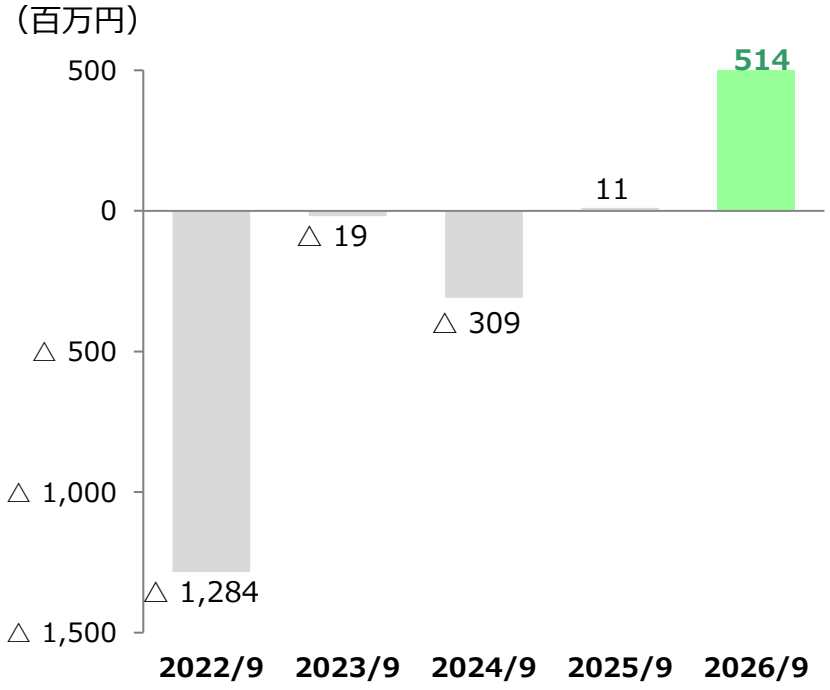
営業利益



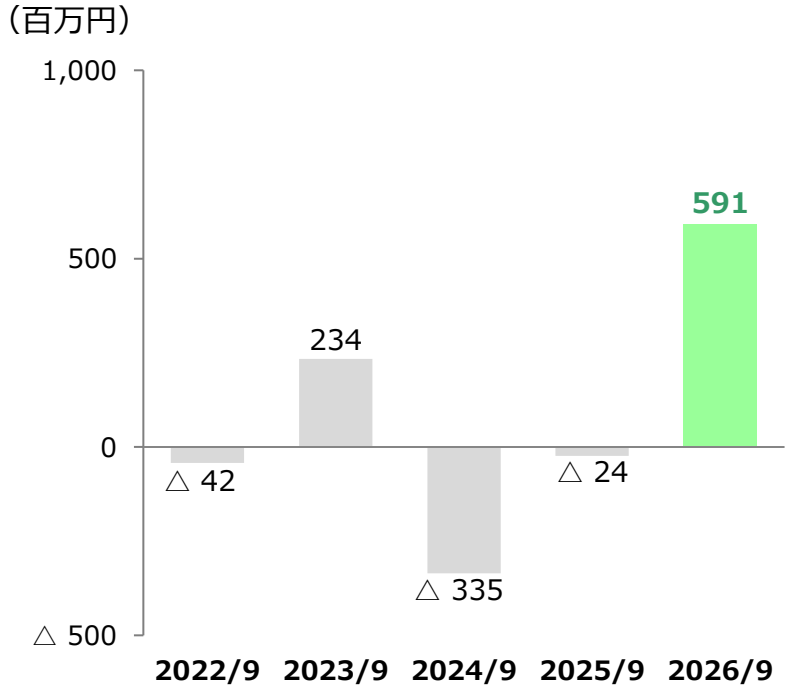
※前期まで「特別利益」に計上していた運行補助金のうち、自動車事業に係る生活交通路線維持費補助金等を、当期から「営業収益」に計上しております。これに伴い、前期までについても組み替えて表示しております。

連結業績の推移（経常利益・中間純利益）

経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



※前期まで「特別利益」に計上していた運行補助金のうち、自動車事業に係る生活交通路線維持費補助金等を、当期から「営業収益」に計上しております。これに伴い、前期までについても組み替えて表示しております。

連結貸借対照表(B/S)

（百万円）

	2026/3期	2027/3期 中間期	増減	主な増減要因
流動資産	17,734	13,533	△4,200	現金及び預金△626　販売土地及び建物+1,139 その他（未収金他）△4,573
固定資産	90,987	93,521	+2,534	有形固定資産△480　投資有価証券+3,166
資産合計	**108,722**	**107,055**	△1,666	
流動負債	29,987	22,724	△7,263	買掛金△723　短期借入金△2,951　未払金△3,514
固定負債	33,211	36,348	+3,136	長期借入金+2,102　繰延税金負債+949
負債合計	**63,199**	**59,072**	△4,12	
株主資本	17,882	18,497	+614	利益剰余金の増加
その他の包括利益累計額	26,490	28,309	+1,819	その他有価証券評価差額金+2,107 土地再評価差額△256
非支配株主持分	1,150	1,176	+26	
純資産合計	**45,523**	**47,983**	+2,460	
負債純資産合計	**108,722**	**107,055**	△1,666	

連結損益計算書（P/L)

（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減	主な増減要因
営業収益	16,257	19,898	+3,640	運輸業+419　不動産業＋585 建設業＋1,415　レジャー・サービス業＋841
運輸業等営業費及び売上原価	13,196	15,610	+2,414	人件費+586　売上原価＋2,057 経費+245　諸税+84　減価償却費+163
販売費及び一般管理費	3,164	3,886	+722	
営業利益又は営業損失（△）	**△102**	**401**	+504	
営業外収益	272	351	+78	受取配当金+20　持分法投資利益＋14
営業外費用	158	238	+79	支払利息+77
経常利益	**11**	**514**	+503	
特別利益	2,939	385	△2,554	工事負担金等受入額△2,453 固定資産圧縮損△2,444
特別損失	2,899	329	△2,570	
税金等調整前中間純利益	**51**	**570**	+519	
法人税・住民税及び事業税	106	104	△1	※前期まで「特別利益」に計上していた運行補助金のうち、自動車事業に係る生活交通路線維持費補助金等を、当期から「営業収益」に計上しております。これに伴い、前期についても組み替えて表示しております。
法人税等調整額	△85	△168	△82	
中間純利益	31	634	+603	
非支配株主に帰属する中間純利益	55	42	△12	
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	**△24**	**591**	+615	

連結キャッシュ・フロー(C/F)

（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	141	**2,259**	+2,118	税金等調整前中間純利益が増加したほか、広島駅南口広場の再整備受託工事に係る支出が減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△498	**△1,679**	△1,180	前期に引き続き「駅前大橋ルート」整備工事に係る「有形固定資産」への設備投資支出があったものの、同工事への工事負担金等受入額が減少
財務活動によるキャッシュ・フロー	△799	**△1,316**	△517	借入金の返済により減少
現金及び現金同等物の増減額	△1,156	**△736**	+420	
現金及び現金同等物の期首残高	4,019	**3,202**	△816	
現金及び現金同等物の期末残高	2,862	**2,466**	△395	

セグメント別経営成績①運輸業

（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	11,742	**12,161**	+419 (+3.6)	鉄軌道事業では、2025年８月の「駅前大橋ルート」の開業に伴う利用者の増加により、**増収** 自動車事業では、2026年２月に実施した「あさひが丘線」や「吉田線」等の運賃改定の効果が寄与し、**増収** 海上運送業・索道業では、中東情勢の悪化などによるインバウンド客の減少が見られたものの、前年に比べ好天に恵まれたことにより、**増収** 航空運送代理業では、手数料単価の上昇が寄与し、**増収**
セグメント利益	△760	**△694**	+65 (－)	
運行補助金	372	**460**	+87 (+23.6)	※前期まで「特別利益」に計上していた運行補助金のうち、自動車事業に係る生活交通路線維持費補助金等を、当期から「営業収益」に計上しております。これに伴い、前期についても組み替えて表示しております。

セグメント別経営成績②流通業

（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	643	**669**	+25 (+4.0)	山陽自動車道の宮島サービスエリアにおいて、８月は好天に恵まれたことで夏休みやお盆期間中の人流が活発化。 ９月は11年ぶりとなったシルバーウィーク５連休の好影響もあり、**増収増益**
セグメント利益	14	**16**	+2 (+19.6)	

セグメント別経営成績③不動産業

（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,767	**2,353**	+585 (+33.1)	不動産賃貸業では、ほぼ前年並みに推移したものの、不動産販売業においては、分譲マンション事業における土地持分のシェアアウトを実施したことにより、**増収増益**
セグメント利益	550	**813**	+263 (+47.9)	

セグメント別経営成績④建設業

（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	2,524	**3,939**	+1,415 (+56.1)	営業活動の推進により受注高が増加、民間の建築工事の進捗が順調だったことにより、**増収増益**
セグメント利益	57	**199**	+141 (+244.4)	

セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

（百万円）

	2026/3期 中間期	2027/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	448	**1,289**	+841 (+187.7)	ボウリング業において、2026年５月をもって「広電ボウル」の営業を終了したことにより**減収** ゴルフ業では、来場者数は微減となったものの、2026年４月に実施したプレー料金の改定効果により、**増収**
セグメント利益	△11	**76**	+88 (－)	ゴルフ練習場では、近隣施設の閉鎖に伴う需要増や、多数のイベント実施による新規顧客の定着化が進み、**増収** 当期より㈱Ａ＆Ｃが連結損益に加わり、レジャー・サービス業の増収に寄与

2026年度の主な設備投資

2026.4～2026.9（実績）		金額
MOBIRYDAYS追加開発		**390** 百万円
乗合バス車両	13両	**417**
貸切バス車両	5両	**276**

2026.10～2027.3（予定）		金額
乗合バス車両	13両	**462** 百万円
5200形グリーンムーバーAPEX	1編成	**605**
運賃箱更新		**317**
宮島松大汽船 クルーザー「CHOU-CHOU」	1隻	**66**



▲クルーザー「CHOU-CHOU」

2027年3月期　連結通期業績予想

（百万円）

	2026年3月期実績	今回予想	増減（%）	主な増減要因
売上高	39,822	**41,600**	+1,777 (+4.5)	2026年3月期に分譲マンション「ザ・広島フロント」の販売収入を計上した反動により不動産業では大幅な減収。一方で、運輸業では微増、建設業では、民間工事の増加により増収を見込む。レジャー・サービス業では、2026年2月に連結子会社化した㈱A＆Cの寄与により、増収を見込む。
営業利益	2,061	**900**	△1,161 (△56.3)	費用面では、人件費や、設備投資の進捗に伴う減価償却費の増加、建設業の資材高に伴う売上原価の増加、資源価格の上昇の影響や金利上昇に伴う支払利息の増加を見込む。
経常利益	2,221	**1,030**	△1,191 (△53.6)	「ザ・広島フロント」の粗利益の反動減もあり、営業利益・経常利益は減少を見込む。
親会社株主に帰属する当期純利益	1,158	**1,100**	△58 (△5.0)	特別損失において、昨年度計上した減損損失および投資有価証券評価損が減少した結果、当期純利益は前年並みを見込む。

連結業績予想の前提条件

収入の見通し(セグメント別)

セグメント	収入対前年比	備考
運輸業	+0.3%	昨年に引き続き2025年8月「駅前大橋ルート」の開業に伴う利用者の増加により、3Q以降も比較的好調を維持すると想定
流通業	+1.9%	引き続き高速道路の交通量とともに来店者も増加することで、宮島サービスエリアの売上増を想定
不動産業	△25.0%	2026年3月期に分譲マンション「ザ・広島フロント」の販売収入を計上した反動による減収を想定
建設業	+22.6%	民間の建築工事の増加等による増収を想定
レジャー・サービス業	+203.4%	2026年2月に連結子会社化した㈱A＆Cの寄与による増収を想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】
広島電鉄株式会社
経営管理本部　経理部　経理グループ
TEL　082-242-3542